

事務局ニュース 05-NO.7 2006.1.11 埼玉県学童保育連絡協議会

〒 330-0854 さいたま市大宮区桜木町4 - 1005

048-644-1571 FAX 048-644-1572

http://www.geocities.jp/saitama_gakudou/ Eメール gakudoust@yahoo.co.jp

【郵便振替】00160-7-93727 埼玉県学童保育連絡協議会

18,526筆の署名を携えて、知事と面談しました。

「みなさんの意志が反映するよう、できる範囲内でやっていきたい」と回答

皆さんから届けられた署名18,526筆を携えて、12月21日、上田清司埼玉県知事と面談しました。県側は、岩井一郎課長らが立ち会い、県連協からは薄井俊二会長以下8人が参加しました。

面談の様子は次の通りです。知事は最後に、「しかるべきところに予算を集めていくというふうに考えている。みなさんの意志がきちんと予算の中に反映するように、できる範囲内でやっていきたい」と述べ、一定の成果を得ることができました。

薄井会長が署名を渡した後、「埼玉県が先駆けとなって学童保育の『運営基準』づくりが他県にも広がり、とうとう厚生労働省としても『ガイドライン』の作成を研究すると言明。国をリードする施策を続けて進めてほしい。続いて、『指導員の研修カリキュラムと認証制度』づくりも研究も始まっており、県と共同して成功させたい」「広島、栃木と子どもが放課後、殺害される事件が相次いでいるなか、安心・安全な放課後保障のために学童保育は必要性は高まっているが、入所児童は毎年増え、大規模化が進展しており、安心・安全な学童保育づくりが重要な課題」

副会長の上別府さん(三郷市・保護者)「昨今の事件で保護者も指導員も心配している。お迎えに来られない子どもについては今まで以上にていねいに送るように気を配っている」

副会長の小沢さん(さいたま市・指導員)「80人の児童が入所。大規模乗り中では、元気な子は自分で遊べてしまうが、自分を出せない子は寂しい思いをしている。また、子どもたちに『待つて、待つて』と言うことも多くなっている」

齋藤さん(朝霞市障害児学童保育・なかよし指導員)「小1から高3年まで12名の児童、4人が重複、トイレ着替えが自分でできなかつたり、歩行不安定な子など1対1対応が必要。また、多動の児童は窓から飛び出してしまう可能性もあるので窓に三重の鍵をしている。指導員5人では対応できず7名とボランティアで対応している」

薄井会長「大規模について指導員を増やせばよいかというと、80人の中では指導員が大声で話をするのが通常になってしまったり、ハイテンションでいることが普通になっていて安心して過ごすことができない状態」「障害児学童保育について、学校では1対1だが学童保育ではそうはできない。ていねいにケアをしていけばゆっくりでも育っていく」

上田知事「本当に現場でご苦労をいただいています。厳しい財政事情もありますが、できるだけ選択と集中、しかるべきところに予算を集めていくというふうに考えている。みなさんの意志がきちんと予算の中に反映するように、これまでもやってきたつもりだが、できる範囲内でやっていきたい。悩ましいです」

薄井会長「予算もそうだが、制度づくりという点で、例えば、運営基準づくり、そして指導員の資格制度などをつくることで国も追いついてくるということがある」

上田知事「今後、課長とつめて下さい。いろんな提案をいただいで」

お知らせ・お願い (^0^)

1. 地元選出の県議員を年始のごあいさつに訪問してください！

この間とりくまれた地域では・・・

業務委託の形態にも関わらず指定管理者制度が導入された坂戸市では、県議(自民党)から「安くやるのではなく内容が大切であり学童をコストで計るのは間違い。学童保育に市場原理を持ち込むことはいけない」「指定管理者制度は、公園やグラントの管理はいいと思うが、学童保育には相応しくないと思う」などの声が寄せられました。

深谷市連絡協議会では初めて？県議(地方主権の会)を訪問しました。県議は、現地の状況報告を受けて、「2月の定例県議会で学童保育のことで取り上げたい。ついては、焦点となる課題・問題を教えてほしい」と話していました。

このように、選出地域からの訴えが具体的な成果として現れます。新年の機会に是非、地元の県議員をご訪問下さい。結果は、県連協事務局までお知らせ下さい。

2. 県連協代表委員会のお知らせ 会費値上げについて地域で討論を！

2月25日(土) 18:00集合 於さいたま市桜木公民館

12月の代表委員会で専従複数化に伴う会費値上げについてご討議いただきました。全体として専従複数化について「反対」はなかったものの、会費値上げについて一部から「研修会費の値上げなど別の方法が考えられないか」という意見がありました。

今回の代表委員会で次年度からの値上げについて一定の結論を得たいと考えています。

【議題】

- 専従複数化に伴う会費値上げについて
- 5月までの方針・とりくみについて
- その他

3. 県連協主催行事等にご参加下さい！

1月22日 指導員の労働条件改善のための一日学習会

2月19日 第5回集中講座「障害児の生活づくり」の会場が決まりました
上尾市文化センターです。グリーンのチラシを各学童保育1部添付しました。

3月5日 第27回実践交流会 (於嵐山・国立女性教育会館)

ライトブルーのチラシを各学童保育5部添付しました。すべての学童保育からご参加下さい。

3月19日 第6回新人研修会 (於さいたま市産業文化センター)

シロのチラシを各学童保育1部添付しました。1年未満の指導員を中心にご参加下さい。

* 会費値上げについて県連協へFAXして下さい 048-644-1572 *

専従複数化に伴う会費値上げについて12月の代表委員会で討議しました。まだ討議されていない地域は2月の代表委員会までに地域・学童保育で討議をして、一定の結論を持ってきてください。代表委員会の材料にしますので、討議状況をお答え下さい。メールでも結構です(既にいただいている地域・学童保育は結構です)。

1. 現時点で討議状況を教えてください

いつ、どういう機関で討議しましたか? どういう意見や質問が出されましたか?
結論はどうでしたか?

2. 未討議の場合、今後の討議の予定を聞かせてください

3. 地域連絡協議会・学童保育に説明におうかがいします。その場合の会議の日程・会場等を教えてください。

* 地域連絡協議会ないし学童保育名 _____
連絡先 _____